

## 亀山警察署協議会議事録

令和5年度第1回亀山警察署協議会	
日 場	令和5年7月10日（月）午後1時30分～午後3時 亀山警察署3階会議室
出 席 者	<p>1 三重県公安委員会 1名 志田幸雄委員</p> <p>2 警察署協議会委員 5名 小寺久美子委員、清水隆啓委員、中川崇沖委員、 中川理恵子委員、村原菜見子委員</p> <p>3 警察署 7名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
<b>議 事 概 要</b>	
<p>1 公安委員会委員挨拶</p> <p>2 会長選出 警察署協議会委員の互選により、会長に清水隆啓委員を選出した。</p> <p>3 警察署協議会の概要 教養DVD「警察署協議会とは」の視聴</p> <p>4 管内の治安情勢等説明（警察署長）</p> <p>(1) 警察組織の概要説明 三重県警察の組織、管轄区域、警察官定員のほか、亀山警察署の沿革、組織、定員等について説明した。</p> <p>(2) 刑法犯認知件数 「本年5月末現在の管内における刑法犯認知件数は123件（前年同期比+53件）である。」旨説明した。</p> <p>(3) 特殊詐欺の認知件数 「本年5月末現在の管内における特殊詐欺の認知件数は8件（前年同期比+5件）である。」旨説明した。</p> <p>(4) 交通事故発生件数 「本年5月末現在の管内における交通事故発生件数は548件で、前年同期に比べ約10%増加した。」旨説明した。</p> <p>5 速度取締り指針説明（交通課長）</p> <p>6 協議内容</p> <p>(1) 交通指導取締り等について</p> <p style="margin-left: 20px;">＜委員＞ 千葉県八街市で起きた児童5人が死傷する交通事故の時にPTAをしていた方の講演を先日、聴いた。事件後に警察、学校、市役所などで委員会を立ち上げ、様々な対策を連携して行っており、中でも、「安全運転ありがとう」というのぼり旗を作成している取組が良いと感じた。</p> <p style="margin-left: 20px;">＜委員＞ 速度取締り以外の場所で速度を出す人がいる。特に、通学路での速度超過は危険で怖い。また、朝、保護者等が見守り活動をしているが、保護者等がいない時は、横断歩道を渡らなかつたり、急に飛び出してくる子供もいるので、小学校付近での交通取締りや交通指導をお願いしたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">【署長】 小学校付近での取締りや交通指導は行っているが、さらに、</p>	

必要な箇所があれば、要望を挙げていただいた上で、検討したいと考えている。

(2) 道路環境について

＜委員＞ 通勤時間帯にみずきが丘入口交差点から国道306号へ流入する車が多く、いつも渋滞している。この渋滞を避けるために脇道を抜けていく車が目立ち危険であるので、道路環境を改善した方がよいのではないかと。

【交通課長】 国道306号沿いは、住宅やスーパーマーケットが増えたことで交通量も多くなり、また、子供も多いことから、「横断歩道の“ハンドサイン”キャンペーン」や「ACTION38キャンペーン」による啓発のほか、年4回の交通安全運動などにより、交通事故防止対策を推進している。

【署長】 まずは現状を把握し、必要な対策を検討したいと考えている。

(3) 特殊詐欺防止対策について

＜委員＞ 特殊詐欺の被害者は、高齢者が多いのか。私は介護施設で勤務しているため、平素から特殊詐欺の被害に遭わないように繰り返し説明している。

高齢者の中には、インターネットを利用していない方もおり、特殊詐欺の発生や被害の情報に触れる機会が少ないと感じている。何か情報を得るための対策はないのか。

【署長】 特殊詐欺の被害に遭うのは、高齢者ばかりではないが、どのように被害防止の情報を伝えていくかが課題である。

老人会を通じて広報啓発活動をしているが、広く浸透させることは難しいと感じている。

市とのタイアップなども検討させていただく。

【生活安全課長】 特殊詐欺は、自宅の電話に架かってくることから、交番に勤務する警察官が一軒一軒を巡回し、留守番電話機能の活用や自動通話録音警告機の利用促進を図っている。

【署長】 自動通話録音警告機の貸出しも行っているので活用してほしい。

7 公安委員会委員講評

「警察署協議会委員の方々には、地域住民の代表として、地域の問題点等について話し合っただけことが大切であると考えているので、今後も忌憚のない御意見をお願いしたい。」と講評した。

備考	報道機関 1社1名
----	-----------